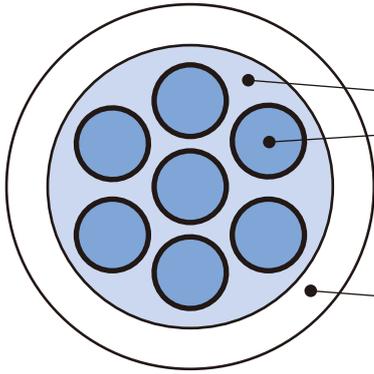


戦略D 深める - 文化醸成力 -

〔戦略別広報〕文化を根付かせる広報

戦略イメージ図



方策D-①

自分らしさ、小美玉らしさを創る

内側の円（外周）：小美玉らしさ
内側の円（内周）：自分らしさ
社会的立場を気にしない 気軽な交流環境
高い文化性を醸成し昇華させる

方策D-②

魅力的なコンテンツをつくる

外側の円：作品・人材づくり

方策D-① 自分らしさ、小美玉らしさを創る

方策のキーワード

親しみやすい、話しやすい、対話の文化による、世代を越えた共存の場

ホールは居心地のよい活動拠点

交流・対話・共創による自己実現とスキルアップ

一人ひとりが社会の一役を担える実感がもてる

サードプレイスによる新たな発見

文化活動を通して、自分の可能性を見つけ、互いに磨き合い、光が当たる

活動計画

アピオス

一人ひとりを活かし、小美玉らしさを生み出せる
プロデューサーを育成する

「一人ひとりが自己実現を感じられる場」をつくることのできるプロデューサーを育て、想いを社会に発する場としてのアピオスをつくります。

事例紹介 第1回全国ヨーグルトサミット in 小美玉

2018年10月に小美玉市で開催された「第1回全国ヨーグルトサミット」。全国108種類のご当地ヨーグルトの「総選挙」や物産展、ヨーグルトを使った美容・健康イベント、講演会・ビジネスサミット、演劇ファミリー Myu のヨーグルトミュージカルや Jolly Forest Jazz Orchestra、小川・みのり・玉里創作太鼓の演奏ほかステージイベントなどが催され、2日間で約39,000人が来場しました。サミットでは酪農協、ヨーグルト工場、農業青年クラブ、商工会、観光協会、青年会議所、子育てサークル、クリエイターチーム、市役所といった市内外の多数の企業・団体が協力連携するだけでなく、文化ホール発の多くの人材（住民・職員）が企画・運営にかかわり、文化芸術の現場で育まれた「住民と行政の共創」が小美玉全体へ広がる事例となりました。



活動計画

みの〜れ

対話と共創を通じて、感動を分かち合い個性を育む

みの〜れに関わる人が、部門の垣根を超えて、より広く、気軽に交流し対話できるしくみをつくります。また展示と公演のコラボなど、部門の交流を基礎にした新しい企画に取り組みます。

活動計画

コスモス

地域の魅力を活かしシビックプライドを育む

コスモスが魅力発信の拠点となるために、人材を育みながら、コスモスを中心に地域や活動をつなげるしくみをつくります。また一人ひとりがサポートを受けつつ自分らしさを発揮できる環境をつくります。

2. 戦略／方策／活動計画

事例紹介 演劇ファミリー Myu ミュージカル

みの〜れの住民劇団である演劇ファミリー Myu は、小学1年生から入団でき、70代までの100名を超えるメンバーで活動しています。家族のような温かさや結束力で、公演では脚本・演出・作曲・振付などを Myu ファミリーが行い、それを支える照明・音響・美術などの裏方スタッフが充実しているのが特徴。オリジナル作品づくりで培った人材と経験を生かし、オリジナルワークショップも考案。毎年新規加入希望者が体験し、安心して入団する流れができています。Myu で育った人材が、他の劇場や団体で創作・客演したり、他機関の情報誌やプロモーションにも力を発揮したりするなど、社会的な好影響をもたらす人材育成機関としても機能しています。近年は地域のクリエイターとの共創にも積極的で、プロボノ実践の場として全国の先進事例となっています。



写真：
「わが家の天ぷら」公演
(2021年3月)

方策D-② 魅力的なコンテンツをつくる

方策のキーワード

ホール変革の歴史で蓄積された知的財産を活用する

プロのアーティスト、クリエイターと共創する

企画・コンテンツのクオリティを向上させる

個性的で良質な企画を創り地域に還元する

次世代の参加・参画意欲を生み出す

活動計画

アピオス

制作力のあるホールになるため、積極的に舞台作品をつくる

アーティストやクリエイターと共創できる制作力を持つホールになるため、積極的に舞台作品づくりをすすめ、住民・職員ともに制作経験を重ねるとともに、ホールへの愛着や、参加参画者の達成感を深めていきます。

事例紹介 おやこ DE ジャズ

「まほうのトンネルのさきは、ムシたちのせかい」。茨城県内の実演家と舞台人、ボランティア、館スタッフが創り上げる、ジャズピアノと演劇を組み合わせたオリジナル公演作品。制作期間は約半年で、毎年新しく脚本、曲を作り、公演に向けた稽古を行います。アピオスでは大ホールの舞台上に客席・スクリーン・照明音響を仕込み、装飾等で「アピオスの森」を創り出し、演者と演奏を近い距離で楽しむことができます。おもに未就学のお子さんとお父さん・お母さんを対象に、0歳児から入場できるこの公演は、毎年新しい内容となるため、シアターデビューの赤ちゃんだけでなく、リピーターが多いのが大きな特徴です。アピオスを中心に10年以上開催され、2日間で1,000人近い来場者が訪れる人気公演となっています。



活動計画

みのり〜れ

蓄積してきたノウハウを生かした魅力あるコンテンツの充実

既存事業を定期的かつ客観的にチェックし見直す体制をつくります。さらにいまままで取り組んできた企画を基礎にして、企画力やアイデアを学び深めることで、新しい企画に展開します。

活動計画

コスモス

アーティストや専門家のプロデュースによる住民参画企画

地域由来のコンテンツを生かしたプロジェクト企画等を専門家との共創で生み出すことで、地域の魅力に気づき、経験を蓄積できる機会をつくります。

戦略別広報

広報のキーワード

ホールで活動する一人ひとりが広報の担い手

戦略A 集める

知ってもらう広報

知り合いへの口コミで共感を呼ぶ

人に薦めたい、一緒にやりたいがキーワード

相手に合わせて紙媒体も効果的に

みんなで SNS を継続的に活用する

広告やプレスリリース（パブリシティ）を組み合わせる

戦略B つなげる

呼びかける広報

企業・団体・学校のボランティア団体をリサーチ&声かけ

企画書をつくって、ホール事業に参加参画 OK とアピール

住民・企業・団体とホールの信頼関係を築く

戦略C 広げる

新しい広報

新しい情報媒体や広報の手法をリサーチ

動画で視覚的に訴える

企画によってはデバイスやアプリを活用

報道やインフルエンサーから第三者視点で PR

特定のターゲットに、ホールの機能を活かしてアプローチ

戦略D 深める

文化を根付かせる 広報

活動で得られた達成感・魅力を伝える

自分たちの活動を広く知らせて、誇りやホールへの愛着を

一人ひとりの活動を通して、ホールの価値を高める

文化ホールでの活動が小美玉市の価値向上につながる